

都市計画道路 戸畑枝光線他街路事業について（報告）

1 概要

戸畑枝光線は、都市高速2号線（戸畑出入口）と同5号線（枝光出入口）を直結させるとともに若戸トンネルとも接続し、本市の目指す環状放射型の自動車専用道路ネットワークを構築する路線である。

これまで、戸畑枝光線1期および汐井町牧山海岸線に平成23年度から事業着手し、高架橋やアンダーパスなどの大型構造物の大部分が完成してきている。事業の進捗に合わせて行ってきた詳細な土質調査に基づく地盤改良の増工や、近接する鉄道や建物への対策等により、**事業費及び事業期間の見直しが必要**となった。

また、平成26年度に着手した2期は、今後の本格的な工事着手に向けて詳細な設計や土質調査を行い、1期の状況を加味しながら、事業内容を再検討したところ、**大幅な事業費及び事業期間の見直しが必要**となった。

このため、戸畑枝光線他街路事業について**計画変更及び公共事業再評価手続**に着手するものである。

2 事業内容・・・資料1

路線名	延長		幅員	車線数
戸畑枝光線(1期)	4.4km	2.7km	9.1m～31.0m	4車線
戸畑枝光線(2期)		1.7km		
汐井町牧山海岸線	0.8km		12.0m～25.0m	2車線

3 変更概要・・・資料2

(1) 事業費及び事業期間

路線名	前回 (H30.3)		今回		備考
	事業費	事業期間	事業費	事業期間	
戸畑枝光線(1期)	140億円	H23-R4	165億円	H23- R5	25億円増 1年延伸
戸畑枝光線(2期)	280億円	H26-R8	500億円	H26- R15	220億円増 7年延伸
戸畑枝光線合計	420億円	—	665億円	—	245億円増
汐井町牧山海岸線	58億円	H23-R4	67億円	H23- R6	9億円増 2年延伸
3路線合計	478億円	—	732億円	—	254億円増

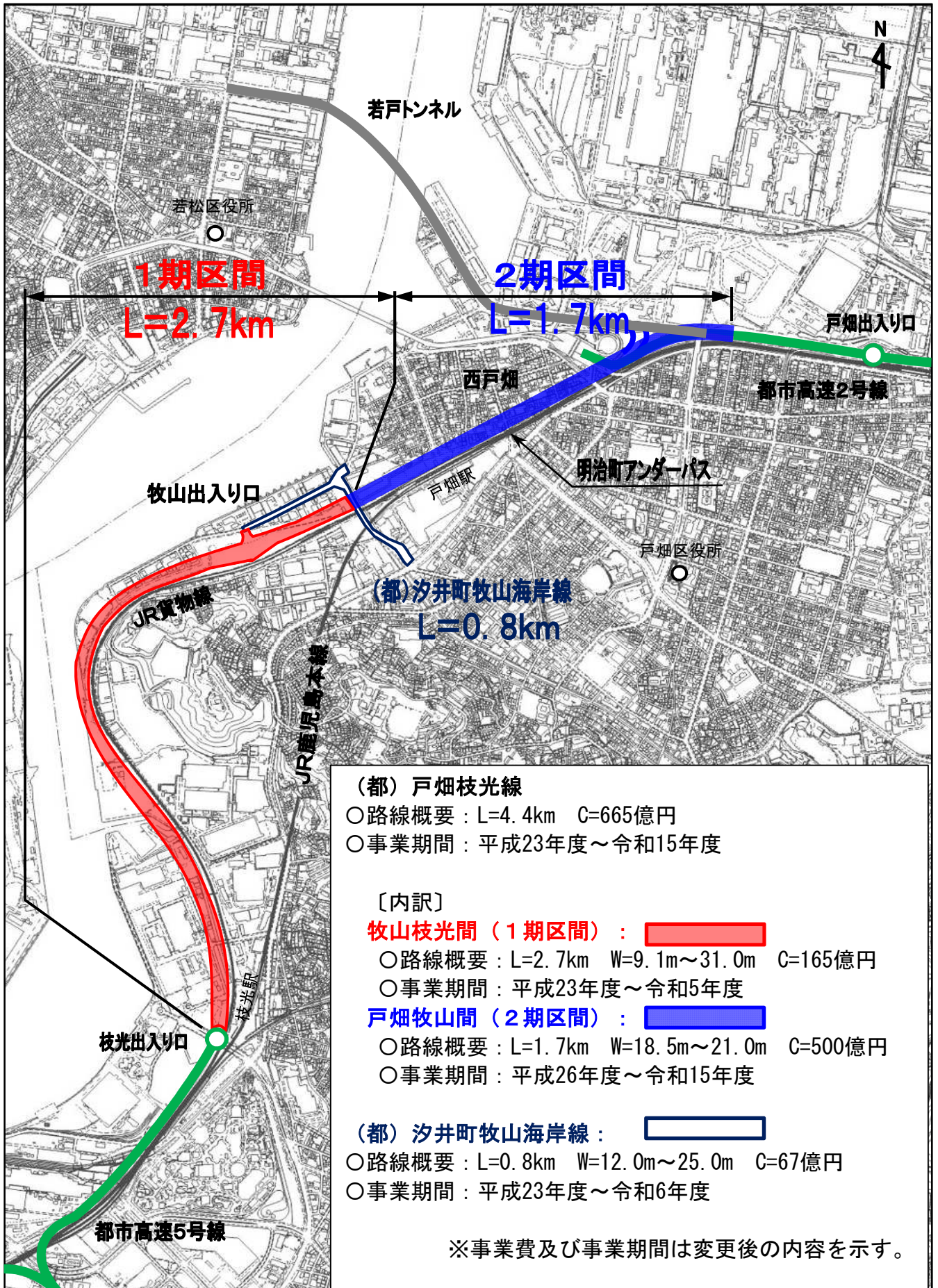
(2) 事業費増額と事業期間延伸の主な理由

- ① 軟弱地盤や地下水位等に対する地盤改良や土留め工法の変更
- ② 近接する鉄道や建物等への対応
- ③ 支障物件への対応
- ④ 人件費や資材価格の高騰等による影響
- ⑤ 若戸大橋と都市高速道路間の円滑な交通を維持するための仮設ランプの設置撤去

4 今後の手続き（予定）

- 令和3年12月 公共事業評価に関する検討会議（外部評価）
 令和3年12月 パブリックコメント実施（～1月中旬）
 令和4年2月 事業認可変更

計画平面図



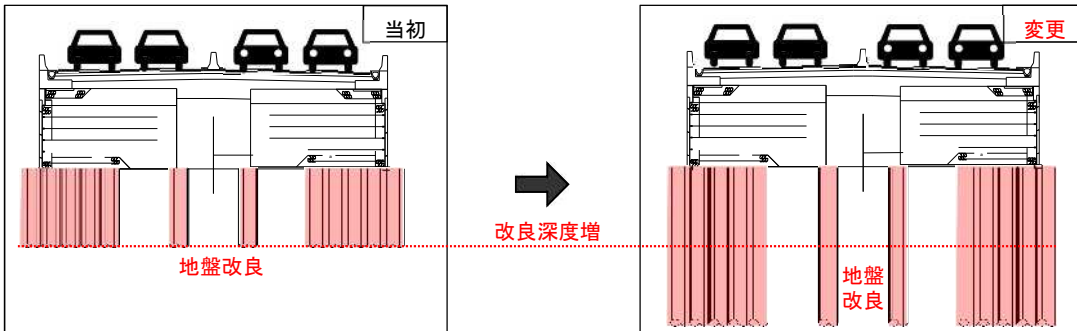
都市計画道路 戸畑枝光線他 街路事業 事業計画の変更

戸畑枝光線(1期)	項目	変更前	変更後	差
	事業費	140億円	165億円	+25億円
	事業期間	H23~R4	H23~R5	+1年

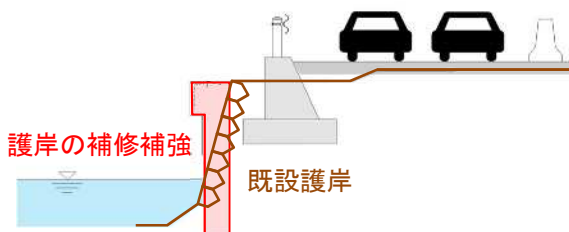
◆変更内容

① 軟弱地盤等に対する地盤改良や土留め工法の変更 (+12.2億円)

ア. 地盤改良深度の変更

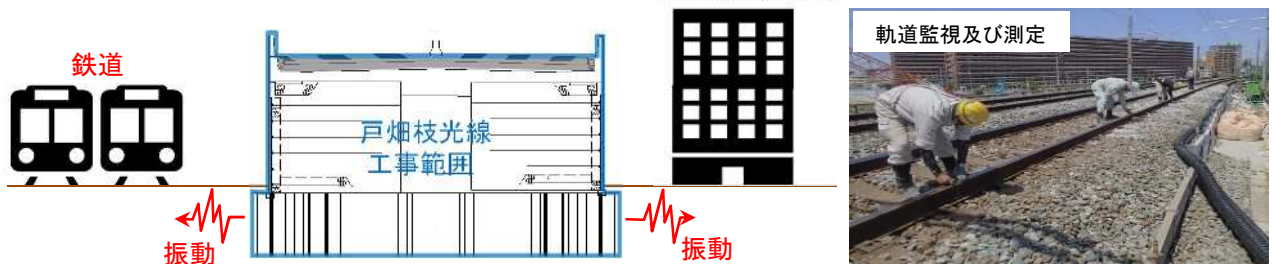


イ. 道路荷重を受ける護岸の補修補強



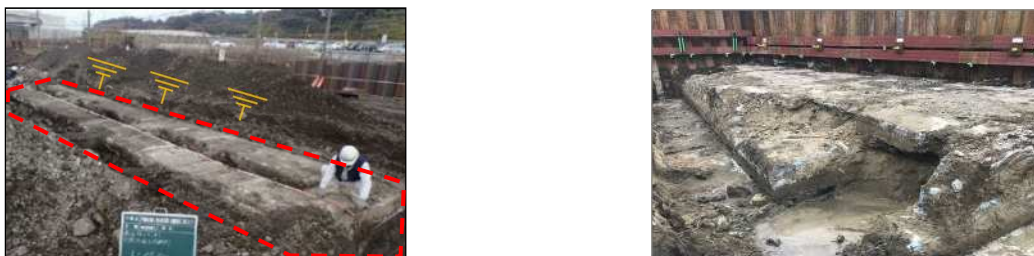
② 近接する鉄道や建物等への対応 (+6.3億円)

鉄道及び建物等の近接部において、保全対策を実施。(低振動工法の採用、軌道監視等)



③ 支障物件への対応 (+1.9億円)

地中から出現したコンクリートの撤去を実施。

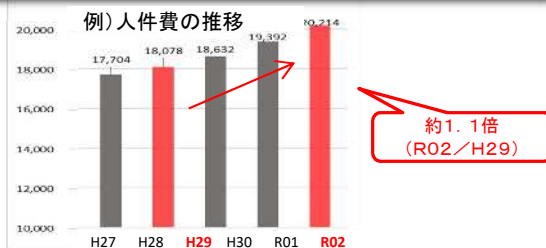


④ 人件費や資材価格の高騰等による影響 (+4.6億円)

社会情勢の変化による工事費の増額

直接工事費を構成する費用の変動	人件費	+12%
	資材価格	+14%
工事全体に係る諸経費の変動 (現場管理費、一般管理費、消費税含む)		+9%

(再評価を実施した平成29年度との比較)



令和2年3月から適用する公共工事設計労務単価について (R02.02国交省)

都市計画道路 戸畑枝光線他 街路事業 事業計画の変更

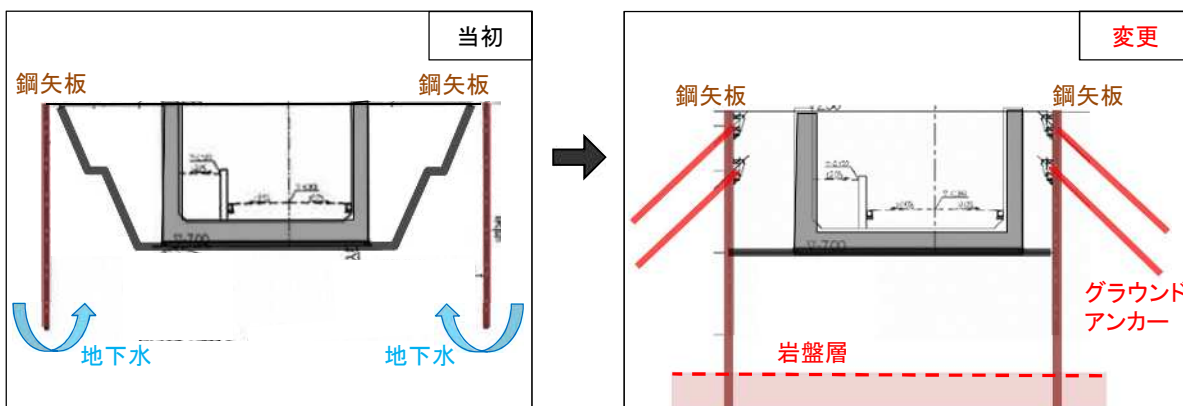
汐井町牧山海岸線

項目	変更前	変更後	差
事業費	58億円	67億円	+9億円
事業期間	H23~R4	H23~R6	+2年

◆変更内容

①軟弱地盤や地下水等に対する地盤改良や土留め工法の変更 (+4.9億円)

- ・土留め材を安定させるためグラウンドアンカーを追加。
- ・止水方法として、鋼矢板を岩盤層まで打込み。

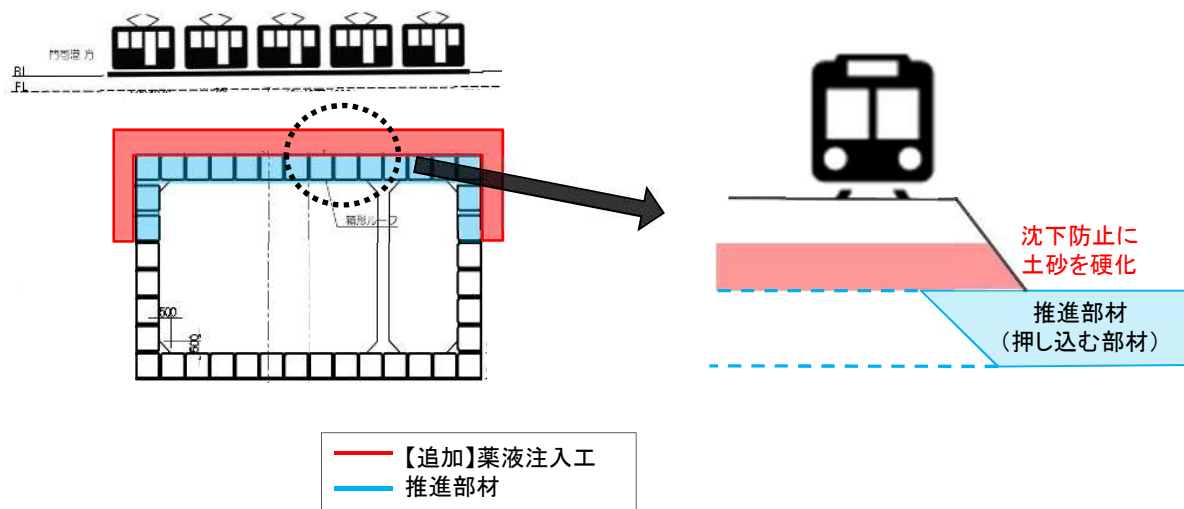


②近接する鉄道や建物等への対応 (+3.7億円)

鉄道堤体部の推進工において、鉄道の沈下対策として薬液注入工(土砂を硬化)を実施。

(横断面図: 汐井町牧山海岸線を正面から見た図)

(縦断面図: 汐井町牧山海岸線を横から見た図)



③支障物件への対応 (+0.15億円)

④人件費や資材価格の高騰等による影響 (+0.25億円)

都市計画道路 戸畑枝光線他 街路事業 事業計画の変更

戸畑枝光線(2期) 1/2

項目	変更前	変更後	差
事業費	280億円	500億円	+220億円
事業期間	H26~R8	H26~R15	+7年

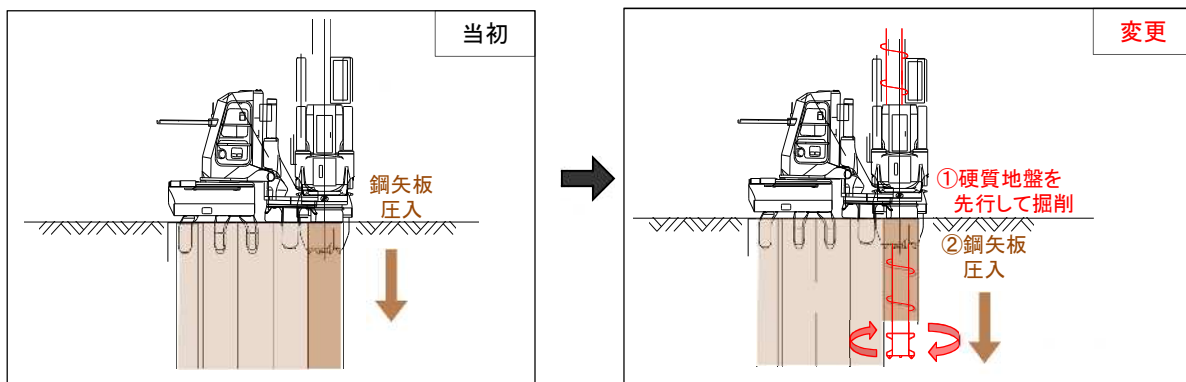
◆事業計画平面図



◆変更内容

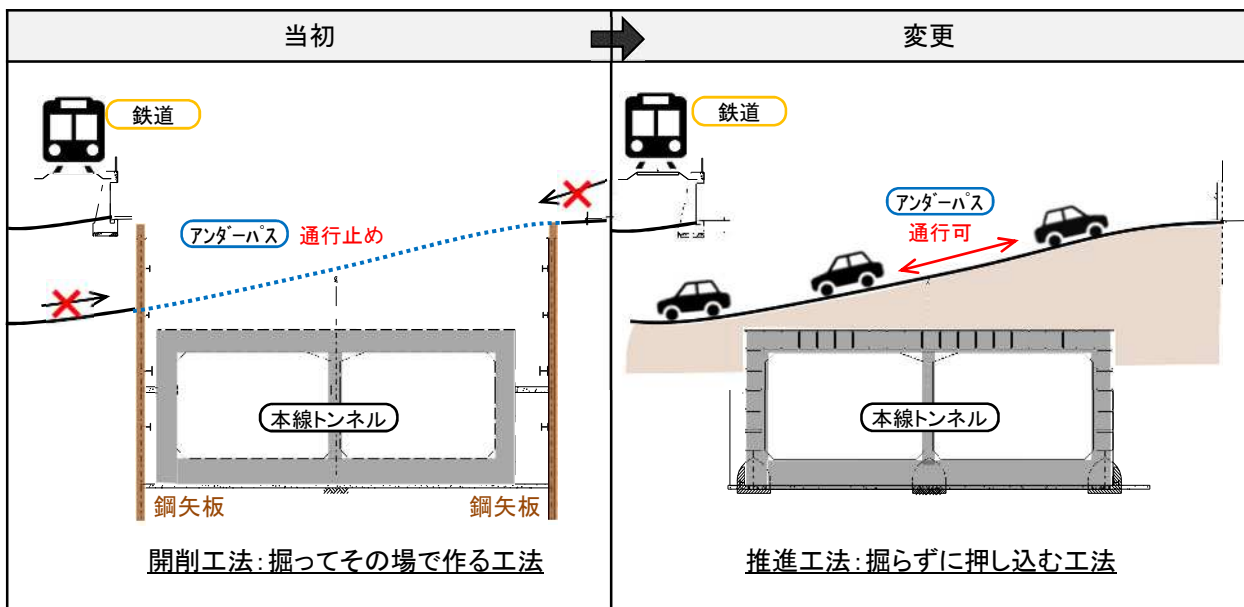
①軟弱地盤等に対する地盤改良や土留め工法の変更 (+34億円)

硬質地盤に対応した土留め工法に変更



②近接する鉄道や建物等への対応 (+56億円)

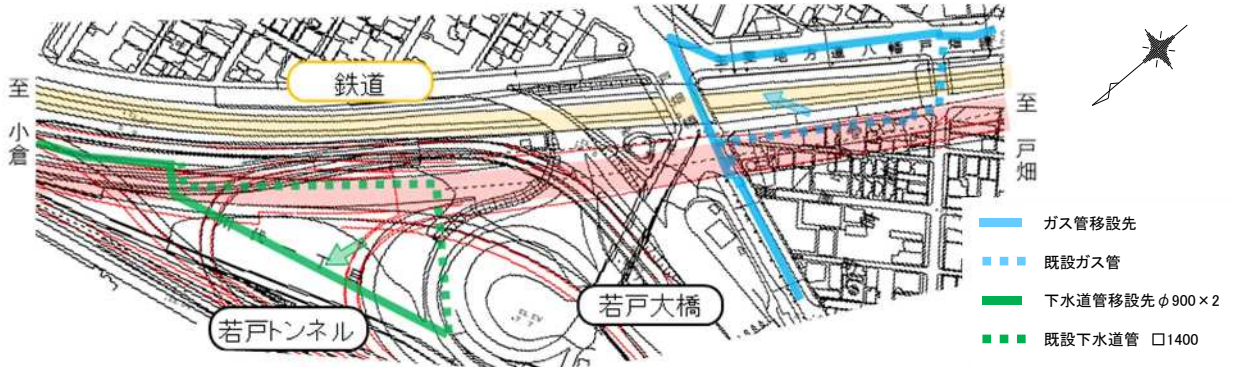
主要幹線直下のトンネル工法を振動や変位等の影響が少ない工法に変更。



戸畑枝光線(2期) 2/2

③支障物件への対応 (+35億円)

支障となるガスや下水道の幹線管路の移設ルートと工法の変更。

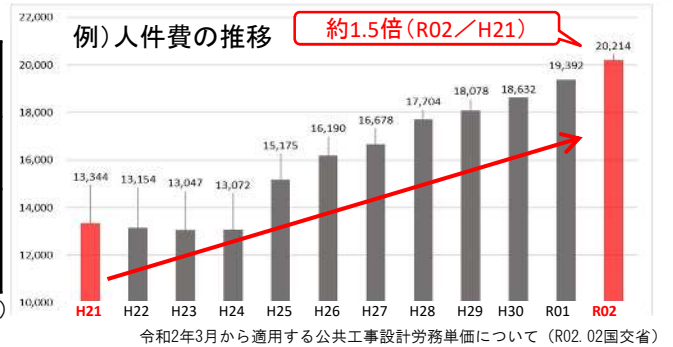


④人件費や資材価格の高騰等による影響 (+56億円)

社会情勢の変化による工事費の増額。

直接工事費を構成する費用の変動	人件費	+50%
	資材価格	+20%
工事全体に係る諸経費の変動 (現場管理費、一般管理費、消費税含む)		+10%

(基本的な設計を実施した平成21年度との比較)



令和2年3月から適用する公共工事設計労務単価について (R02. 02国交省)

⑤若戸大橋と都市高速道路間の円滑な交通を維持するための仮設ランプの設置撤去 (+39億円)

戸畑区⇄若松区の交通維持のため、複数回に及ぶ仮設ランプの設置撤去が必要。

